

感染症週報

岡山市感染症情報センター

■ 総評(Review)

令和7年第12週(3月17日から3月23日)の岡山市の感染症発生動向

■ インフルエンザ

- ・第12週の報告は33件(定点あたり1.50)で、第11週の報告は16件(定点あたり0.73)から増加しました。
- ・第12週の全国平均は定点あたり1.98(前週2.23)、岡山県平均は定点あたり1.94(前週1.49)となっています。
- ・岡山市内の基幹定点医療機関からのインフルエンザ入院の報告は、第11週は0件(0.00)、第12週は0件(0.00)と大きな変化はありませんでした。(インフルエンザ流行時の2025年第2週では、35件の報告がありました。)
- ・病原体検査ではインフルエンザA/pdm09が多く検出されています。

■ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

- ・第12週の報告は25件(定点あたり1.14)で、第11週の報告47件(定点あたり2.14)から減少しました。
- ・第12週の全国平均は定点あたり3.23(前週3.85)、岡山県平均は定点あたり3.06(前週3.44)となっています。
- ・基幹定点医療機関からの新型コロナウイルス感染症の入院の報告は、第11週は4件(3.00)、第12週は6件(6.00)と増加しました。

■ 感染性胃腸炎

- ・第12週の報告は134件(定点あたり9.57)で、第11週の報告は230件(定点あたり16.43)から大幅に減少しました。
- ・年始から増加傾向であり第11週は定点あたり15を超えるほど急増しましたが、第12週は大幅に減少しました。今後の感染状況に注意してください。
- ・例年1～2月は発生数が増加します。手洗いを習慣づけ、感染防止に努めましょう。岡山県内で食中毒(ノロウイルス)注意報が発令中です。

■ RSウイルス感染症

- ・第12週の報告は11件(定点あたり0.79)で、第11週の報告は16件(定点あたり1.14)から減少しました。
- ・年始から全国的に増加が続いていましたが、ピークを過ぎ減少が続いています。
- ・RSウイルスは接触感染、飛沫感染で感染が広がり、2歳までにほぼ全員が少なくとも1度は感染します。乳幼児は気管支炎や肺炎など重症化することがあります。新生児は無呼吸発作など特に注意が必要です。

■ 伝染性紅斑

- ・第12週の報告は1件(定点あたり0.07)で、第11週の報告は2件(定点あたり0.14)から減少しました。
- ・伝染性紅斑はヒトパルボウイルスB19による感染症です。微熱やかぜの症状などがみられ、その後両頬に赤い発しん(紅斑)が現れます。また、妊婦が感染すると、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。
- ・全国は、直近で2019年頃に流行が起きていましたが、昨年末より2019年と同程度の定点あたり報告数となっており、流行が起きています。岡山市で報告数の増加は見受けられていませんが、咳エチケット、手洗いなどの対策を心がけ、感染予防に努めましょう。